



平成 29 年 7 月九州北部豪雨 緊急災害報告会



平成 29 年 7 月、九州北部において発生した線状降水帯により、過去に例のない長時間かつ集中的な豪雨を記録した。この豪雨により、福岡県朝倉市、東峰村、大分県日田市を中心に斜面崩壊・土石流・がけ崩れなどの土砂災害や洪水災害が発生し、人、住家、社会基盤施設等々に甚大な被害をもたらしている。

(公益社団法人)地盤工学会では、本災害の社会的重要性・緊急性に鑑み、地盤工学会九州支部の産・学のメンバーからなる先遣調査隊を編成し、地盤災害の状況把握のための現地調査を実施した。

本緊急報告会では、現地調査の結果を踏まえ、被害の状況と本災害の特徴を速報的に報告する。

日時：2017 年 7 月 12 日 (水) 17:00 – 18:00 (午後Ⅲ)

会場：名古屋国際会議場 2 館 224(a) (第 4 会場)

座長：安福規之 (九州大学)

報告内容 (予定)

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| ・はじめに (先遣調査の日時, メンバー, ルート等) | 安福規之 (九州大学) |
| ・降雨特性と被害の状況 | 村上 哲 (福岡大学) |
| ・河川・ため池被害 | 石藏良平 (九州大学) |
| ・道路被害 | 廣岡明彦 (九州工業大学) |
| ・斜面災害 | 笠間清伸 (九州大学) |
| ・おわりに (今後について) | 安福規之 (九州大学) |